

# 月にみがきて

## 2月の校長講話

### 算数って面白い

「算数が好きですか、にがてですか。算数って聞くと計算や問題をとくなどと思いますが、生活やあそびの中に、さまざまな形で算数が入りこんでいます。」と語り、紙コプターを示してただやるだけでは、遊びだが、調べる活動を入れて「羽のながさがどのくらいが長くとぶかな?」「どのくらいの時間飛んでいるかな?」また、「①同じ高さから ②着地するまでのタイムを計る ③平均を出すなど」調べることで数学になっていくお話がありました。また、マンホールのふたから、「ものの形には、それぞれ意味がある。どうしてそんな形をしているのか考えてみよう!」のお話等、遊びの中にも、自然の中にも算数がある。まわりを見てさがしてみよう! と話した。早速、一年生は紙コプターを実践したとの報告があり、一年間学習をまとめるにふさわしい校長先生のお話でした。



**マンホールのふたのまるいわけは?**

- ①しかくいふたは、真ん中から長いところと短いところがある。だから、ななめにすると、あなの中に落ちてしまう。かどが欠けやすい。とがっている。
- ②まるいふたは、どうやっても落ちない。まるいところがして 運べる。



## 感謝とお礼とともに卒業を祝う6年生を送る会





卒業まで登校日数8日前に「6年生を送る会」が開かれました。贈るカードと応援団ように太鼓でのエールを送った三年生（写真②③）。一年生はお世話になった内容の呼びかけと「小犬のマーチ」の合奏（写真④⑤）。インタビュー形式の自分の話し言葉で気持ちを伝え「翼をください」を贈った4年生（写真⑥⑦）。ジェスチャークイズで6年生から解答をもとめ囹囡囡囡の言葉を掲げ「はじめの一步」を聞かせてくれた2年生（写真⑧⑨）。6年生から新しい児童会を引継ぎこの会を運営してくれた5年生は鼓笛隊演奏を贈った（写真⑩⑪）。お返しに6年生は「絆」で美しいハーモニーを披露してくれた。児童会長から6年生へのメッセージカードが後ろの壁に掲示されていることが紹介⑮され、それぞれの学年の成長の姿で感謝とお礼の気持ちを伝えることができ、一年間の成長を感じさせてもらえる良い会でした。6年生が退場⑭した後、五年生が片づけのため残る場面で、校長先生から会を運営した5年に賛辞とこれからよりよい学校するために引き続き活躍してほしいとの言葉もありました。

## 成長を具体的に誉め 次年度へつなげましょう

まもなく一年を経ようとするときとなりました。毎朝、玄関で挨拶をしていると、あんなに足取りもおぼつかない入学生だった1年生が、しっかり歩き足取りが確かなものになりました。挨拶も目を見て、止まって、名前をいって「〇〇さんおはよう」という子どもたち、字も読めるようになり、私の名前もスラスラ読めるようになりました。振り返ってみますと一年間の子どもたちの成長に目を見張ります。

さて、三学期もまもなく締めくくりとなります。通知表等評価が渡されます。丸や三角の数に目がいきがちですが、単元や内容も違いますので数の比較は意味を持ちません。子どもさんの具体の姿で誉めてあげてください。